



わかば寮建て替え1期工事で建設された「花の棟」(7面に関連記事)



CONTENTS

- P3** 2023年度の主な新規事業
- P4-5** 旭川荘で働く外国人介護福祉士
- P6** つばさコンサート 4年ぶりにステージ発表
- P6** 旭川乳児院に食器寄贈

旭川荘 だより

vol.
273

2023.5.1 発行

発行/社会福祉法人 旭川荘
〒703-8555 岡山市北区祇園866
TEL 086-275-0131 FAX 086-275-5640
<https://www.asahigawasou.or.jp>



辞令交付式を終え、資料館を見学する愛媛支部、備中支部の新職員(2面に関連記事)



70周年に向けて「新生旭川荘を」

理事長 末光 茂

令和5年度のスタートにあたり、旭川荘は幹部職員を含め44人の新職員を迎えることができました。

近年、日本の医療・福祉分野での職員不足は、深刻な状況が続いています。そうした中で、旭川荘にこれだけの職員を迎えることができたのは、「創立の理念」に沿った先輩の大変な努力の積み重ねが、あったればこそです。

川崎祐宣先生が提唱した「医療福祉」、江草安彦先生が日本に紹介・導入した「ノーマリゼーション」、そして私の目指す新たな「インクルージョン」の3つのキーワードが、旭川荘独自の特長の根幹にあることを頭に入れ、一日も早くそれぞれの職場に溶け込み、将来はそれぞれの分野のリーダーに成長することを願っています。

また、新年度には幹部職員の交代もありました。仁木壯前副理事長が特別顧問に就任するとともに、副理事長は神崎晋、新井禎彦両名の体制となりました。その他、理事や施設長についても、若手や女性登用を積極的に

図りました。(詳細は本紙8面)

このような転換点にあって、旭川荘は次のような方針で臨みたいと考えています。

- ① まず川崎先生と江草先生を先頭に、先人たちが他にない高邁な「創立の理念」を掲げられ、その具体化・実践面でリーダーシップを執られた、その「基本」をしっかり守る。
- ② そのうえに時代と地域の求めに、積極かつ果敢にチャレンジする。
- ③ どんなに重い障害等を抱えようとも、かけがえのない尊厳を有する人として、地域社会でインクルーシブな暮らしが実現できる、そのような社会づくりのために、旭川荘ならではの働きを、心新たに果たす。

「新生旭川荘」への転換に向けて、慎重かつスピード感を持って取り組みたいと思います。

新職員39人に辞令交付

今年度採用の新職員への辞令交付式が4月3日、旭川児童院で行われ、39人が新たに旭川荘に仲間入りしました。新職員が一堂に集まる辞令交付式は、コロナ禍のため2020年度から中断、4年ぶりの開催となります。

式には今回初めて愛媛支部からも4人の新職員が出席。幹部職員らが見守る中、全員の氏名と配属先、職名が読み上げられた後、末光茂理事長が代表の竜ノ口寮・介護員、畑山弘人さんに辞令を手渡しました。

末光理事長は旭川荘創立の理念や先輩方の努力に触れながら「それぞれの立場で旭川荘に早く溶け込み、リーダーシップをとる立場に成長してほしい。皆さんが利用者と職員に幸せをもたらしてくれ



新職員を激励する末光理事長

ると期待しています」と激励。新職員を代表して旭川児童院・児童指導員の小西咲姫さんが「敬天愛人の理念のもと、利用者の皆さんのニーズに応え、思いに寄り添い、ひとりひとりが自分らしい生活や人生を送れるよう努めていきます」と宣誓しました。

その後、新職員は辞令を受け取り、緊張した面持ちで各配属先へ移動。愛媛支部、備中支部配属の5人は資料館やアトリエ夢工房、療育・医療センターなどを見学し、旭川荘の歴史や祇園地区の施設について理解を深めました。



末光理事長に宣誓する小西さん(中央)

2023（令和5）年度の 主な新規事業について

わかば寮建て替えⅡ期工事の実施

わかば寮の全面建て替えのための3か年計画の2年目Ⅱ期工事を実施し、女性棟と事務棟を新築します。また、かえで寮との再編成を見据えて生活グループの見直しを行います。



Ⅱ、Ⅲ期工事予定地。柵で囲った手前のスペースのほか、奥に見える建物を取り壊して3棟を建設する

旭川敬老園のユニット改修工事等

現在の敬老園の1ユニット当たりの居室数を8部屋から9～10部屋に増やすこととし、そのための改修工事を実施します。このことによりユニット数は15から12になり、業務の効率化が図られます。なお、入所の定員は110人に変更ありませんが、短期入所の定員は現在の10人から4人に変更になります。

在宅での就労継続支援の実施

松山ワークセンターでは、通所サービスのご利用が難しい障害者の方について、在宅で就労継続支援(B型)を実施します。これは全国的にも例の少ない先駆的な取り組みと言えます。

北宇和病院で地域包括ケア病床を開設

北宇和病院では、4月から34床の地域包括病床が開設され、急性期の治療を終え病状が安定した患者様の在宅復帰に向けての医療管理やリハビリを行ってまいります。

祇園窯ワークショップの開催

いづみ寮では、地域の方々が施設のご利用者と一緒に祇園窯の陶芸体験をしていただくワークショップを開催します。このことを通して、地域と旭川荘の交流を深めるとともに、住民の皆様の障害者への理解を深めていただきます。

総合研究所での新たな研究の実施

橋本財団の助成金を活用して、障害者権利条約の推進に関する国際動向や福祉現場での権利擁護に関する研究を実施してまいります。



川上診療所など4施設 新たな指定管理方法で運営継続

高梁市川上診療所と川上歯科診療所、老人保健施設ひだまり苑の3施設は、本年度から高梁市国民健康保険成羽病院附属施設となり、あわせてやすらぎ荘も旭川荘が新たな指定管理方法(料金収受代行制・★注)のもとで運営を継続することになりました。受託期間は2028年(令和10年)3月末までの5年間です。

旭川荘は2004年(平成16年)に合併前の川上町から指定管理を受け、これらの施設で地域住民に医療、介護サービスを提供していましたが、高梁市西部地域の人口減少、医療の担い手不足など施設運営を取り巻く環境は厳しく、事業の継続に向けて高梁市との間で協議を続けてきました。成羽病院の附属施設になることで財務などの業務負担を軽減、サービス提供に注力できる体制となります。

★注：料金収受代行制

地方公共団体の収入となる施設の利用料金を指定管理者が代行して徴収。施設の管理運営に必要な経費は別途、指定管理者に支払われる。

指定管理基本協定調印式



高梁市内で3月28日に行われた調印式。
左から近藤隆則市長、末光茂理事長、立会の石田芳生市議会議長

外国人介護福祉士 奨学金創設から5年

旭川荘が介護福祉士を目指す外国人留学生への奨学金制度を2017年に設けてから、5年が経過しました。奨学金を利用して旭川荘に就職している外国人介護福祉士は、現在11人にのぼります。奨学金を利用せずに就職した4人を含めると15人で、国籍は、ミャンマー、ベトナム、中国。専門知識や技能を身につけるべく、各施設で研鑽を積んでいます。また、現在も3人の奨学生が旭川荘厚生専門学院で学んでいます。

旭川荘では長年、東南アジア各国との交流を積極的に行ってきました。2016年にベトナム出身のガンさん、トゥイさん（現在は旭川児

童院勤務）が、福祉事業者の支援を受けて厚生専門学院に入学したことや、ミャンマーへの医療支援を行っている岡山大学名誉教授の岡田茂先生から、同国の高齢化に備えて介護人材を養成したいと依頼を受けたことをきっかけに、旭川荘では、将来母国でも活躍できる人材を養成することを目指して、東南アジアの留学生向けの奨学金制度を創設しました。国際交流に識見ある方の推薦する候補者に面接試験を行い、年間数人を受け入れています。

一定期間の講習等を受けただけの「技能実習」や「特定技能」の人材は採用しておらず、あくまで介

護福祉士国家資格を取得した人を正職員として採用しています。

奨学金は月額7万円を貸与しており、半年間の日本語学校と、2年間の厚生専門学院の学費はすべて賄えるようになっています。寮で生活し、食費は施設でのアルバイトで賄います。厚生専門学院を卒業後、5年間旭川荘の施設で勤務すれば、奨学金の返済を全額免除されます。なお、現在は岡山県社会福祉協議会の修学資金貸付事業や岡山県の補助事業も活用しており、旭川荘の実質的な財政負担はかなり軽減されています。

生活面では、当初は行政手続きや通学定期券の購入、病気やけが



ミンさん

ミャンマー出身、竜ノ口寮
①アニメをみる、本を読む、音楽をさく
②納豆、うどん、寿司
③介護の教師



イツさん

ミャンマー出身、児童院
①音楽鑑賞と旅行
②ミャンマー料理
③お母さんと一緒に生活したい



フォンさん

ベトナム出身、いづみ寮
①料理を作ること
②うどん
③お金持ちになりたい



チョーさん

ミャンマー出身、児童院
①ギターを弾くことと読書
②特にな
③帰国して介護の技術を教えながら施設を作りたい



ワーさん

ミャンマー出身、愛育寮
①歌を歌うこと、世界各地の人とコミュニケーションすること
②果物と寿司
③学んだ技術を使って家族と人々を助けたい。母国にも技術を供給したい



アウンさん

ミャンマー出身、敬老園
①音楽鑑賞と読書
②焼肉とパン
③国に帰って故郷で立派な高齢者施設を建てたい



日本語教室の様子



食事介助をするエさん

の際の受診など、さまざまな面で支援が必要になるため、職員の組織横断的なサポートチームを設けて対応しています。旭川荘の有志職員による募金も、緊急時等の生活の支えになっています。

学習面では、厚生専門学院における特別の補習や、旭川荘内での日本語教室を実施し、「言葉の壁」の克服を目指しています。こうした取り組みにより、11人中8人が国家試験に合格し(就職後に再受験して合格した人を含む)、残る3人も法改正の経過措置により国家資格を取得して、専門職として活躍しています。

旭川荘の人材不足の解消を目

的として開始した事業ではありませんが、各職員が施設においてかけがえない存在となっています。年数を経て、結婚・出産を経験した職員もいますし、職場で指導的立場に立つ職員も出てきました。日本人・外国人の後輩を指導しながら、将来は母国でも指導的立場に立ってくれることを願っています。(日中・アジア医療福祉研修センター所長 小幡篤志)



奨学金を利用した外国人職員の紹介

奨学金を利用した外国人職員に、①趣味、②好きな食べ物、③将来の夢を質問しました。出身国と所属施設とあわせて紹介します。(名前は通称)

なお、今回は紙面の都合で紹介を割愛しますが、奨学金を利用せずに就職した外国人介護福祉士には、前述のガンさん、トゥイさんのほか、呉さん(中国出身、旭川敬老園)、ニャンさん(ベトナム出身、かえで寮)がいます。またゴックアインさん(ベトナム出身、児童院)は、今年3月末をもって契約期間満了により退職、帰国しました。



エさん
ミャンマー出身、児童院
①お笑いを見ること
②ラーメン
③日本が好きだから日本に住みたい



トゥイさん
ベトナム出身、竜ノ口寮
①読書、旅行
②うどんと寿司
③経済困窮の高齢者のホームと親のいない子のケアホームを開きたい



ノさん
ミャンマー出身、児童院
①歌を歌うこと
②焼肉
③母国で介護をしながらレストランを開きたい



テーさん
ミャンマー出身、児童院
①高齢者などのお世話をすること
②パンと魚
③母国で介護の仕事しながらボランティアをしたい



モモさん
ミャンマー出身、児童院
①旅行と料理をすること
②なんでも好き、日本では刺身が大好き
③介護のレベルを向上し、母国で困っている人々を助けたい



吉備ワークホームで実習中のノさん



利用者と散歩するワさん

つばさコンサート 4年ぶりにステージ発表 旭川児童院

旭川児童院で3月8日、利用者の日常生活の様子を表現した詩にボランティアや職員が曲をつけてステージ発表する恒例の「つばさコンサート」を4年ぶりに開催しました。

新型コロナウイルス感染症対策のため、2020年はやむなく開催を中止。一昨年、昨年は制作した曲をDVDに収録し、院内に配るなど発表方法を変えて続けてきました。39回目を迎える今年は無観客ではありましたが、利用者にステージ発表を楽しんでもらいたいと企画。応募のあった38編の詩のうち入選した8編にメロディーをつけ、職員らが利用者本人を囲みながら歌と楽器演

奏、趣向を凝らした演出でオリジナル曲を披露しました。

ステージの様子はZoomを使用して院内各所にライブ配信し、多くの利用者・職員が視聴しました。また、毎年つばさコンサートに詩を応募している南愛媛療育センターとも、今回初めてZoomを介して交流。利用者2人が詩を朗読しました。（旭川児童院 小豆忠博、松本裕子）



ステージで職員に囲まれ笑顔を見せる利用者

みなみ愛媛通園センターで20歳を祝う会

みなみ愛媛通園センター（本園）で3月30日、利用者2人の20歳を祝う会を行いました。

近年は新型コロナの影響で、個別でのお祝いにとどまっていたのですが、今回は本園と分園の利用者が集い、大勢でお祝いすることができました。当日参加することのできなかった利用者からは、活動中に作ったコサージュやくす玉の心温まるプレゼントがありました。

会は堀内伊作所長のあいさつに始まり、20年間の成長を振り返るビデオの上映、お祝いの言葉や歌のプレゼント、記念品贈呈と続き、会場は笑顔あり、涙ありの和やかな雰囲気につつまれました。ご家族からは「今ある命

を大切に、一つ一つ夢に向かってチャレンジを」「これからも今のまま元気で過ごして」と20歳を迎えた2人への思いや、20年間の思い出をお話していただきました。

互いの自宅が近く、幼なじみとして過ごしてきた2人。今後も笑顔あふれる毎日を送っていただきたいと願っています。（南愛媛療育センター 毛利麻衣）



20歳を迎えた2人（前列中央）をみんなで祝福

サンキ・ウエルビィ労組分会より幼児用食器寄贈 旭川乳児院

中国地方を拠点に介護事業を展開するサンキ・ウエルビィ株式会社（本社・広島市）の労働組合・サンキ・ウエルビィ労組分会より3月23日、旭川乳児院へ幼児用食器やスプーンなど約30セットを寄贈していただきました。

この日は旭川荘資料館で贈呈式があり、同労組分会の李木雅彦執行委員長が「子どもたちに食事の時間を楽しんでもらえたら」と、乳児院の堀野宏樹院長に寄贈品を手渡しました。堀野院長は「食器類が古くなり、一新したいと思っていた。寄贈していただき大変ありがたい」とお礼を述べました。



堀野院長（中央）に幼児用食器を贈る李木執行委員長（写真右）

同労組分会では社会貢献活動の一環として、2008年度から事業所のある広島、岡山、山口、島根県の社会福祉施設に対し、テレビや学習漫画セットなど施設が希望する商品の寄贈を行っています。



明るい色合いの食器（強化磁器）とスプーン

花の棟完成 5月に24人入居 わかば寮建て替えⅠ期工事

かえで寮との統合に向け、昨年度から3年計画で全面建て替え工事を進めているわかば寮のⅠ期工事が3月末までに終わり、寮北側のグラウンドに2階建ての男性居住棟(延床面積約1,027㎡)が完成しました。5月中旬にはわかば寮の利用者19人と、かえで寮の5人が新たな部屋で生活を始める予定です。

自然の美しい風物を表す「花鳥風月」から一字採り「花の棟」と名付けられた新しい居住棟は、12の個室からなるユニットを1、2階にそれぞれ配置。ユニット内には食堂を兼ねたりリビングのほか、トイレ、浴室、洗面室などを備えています。利用者の高齢化、重度化に対応するため、床の段差をなくし、随所に手すりを配したバリアフリー仕様。2階には介護用の機械浴槽を置くための広い浴室と、短期入所の個室も設けています。



背もたれや可動式の手すりが付いたトイレ

ユニット以外の共有スペースには職員室や日中活動室(大小3室)、相談室などをレイアウト。建具や壁、家具、カーテンなどはベージュやブラウン、グリーンなどのアースカラーでまとめ、ユニット内の個室の小窓にはカラフルなアクリル板をあしらうなど、明るく温もりのある空間に仕上がっています。

今年度は管理棟と女性居住棟、来年度は2階に多目的ホールのある男性居住棟などを順次建設。「花の棟」に倣い、それぞれ「鳥の棟」「風の棟」「月の棟」の名称が付いています。



通常の浴室とは別に機械浴槽用の浴室も備えている

リレーコラム

鬼の棲むまち鬼北町

子どものころ悪戯をすると「鬼ヶ城山おにがじょうやまに棲んでいる鬼が降りてきて、連れていかれるよ」と母親から叱られたり、お祭りの日には近所の子供たちが集まり、牛鬼うしおにの山車を担いで、竹笛を鳴らしながら町を練り歩いたり、身近に鬼という文化を感じていました。

私が働く北宇和病院がある鬼北町は、全国の自治体の中で唯一「鬼」という文字がつく町ということもあり、鬼のまちづくり(地域おこし)を行っております。そのシンボルとして道の駅に、鬼のモニュメント「鬼王丸おにおうまる」とその母親の「柚鬼媛ゆきひめ」が建造されており、パワースポット(映えポイント)として多くの観光客が訪れています。

一般的に鬼というと、桃太郎伝説にある村人を痛めつけたり、最近では鬼滅の刃であったりと、怖く悪い妖怪として扱われていますが、鬼王丸は少し違います。見た目こそインパクトがありますが、左肩には鬼北町の特産の雉をのせ、右手には財力の象徴とされる金棒を持ち、3つの願いを叶えてくれる力があると言われてます。鬼王丸の効果か、モニュメントができて以来、道の駅の

宝くじ売り場では高額当選が出るようになり、最近では節分で「福は内、鬼も内」と祝うようになりました。

この鬼という言葉には、もう一つプロフェッショナルという意味があります。鬼北町も「鬼にならんとうまいもんはできん」として、町民一人ひとりが鬼となり、良いサービスや良いものを作る「鬼の棲むまち鬼北町」をキャッチフレーズに掲げ、町をPRしています。

私自身、鬼となれているのか?まだまだですが、鬼に連れていかれないように気を付けて、鬼王丸に願い事をしたいと思います。

(広報委員 佐竹勇樹)



鬼王丸(©竹谷隆之/鬼北町)

旭川荘理事会・評議員会報告

令和4年度第3回理事会を3月17日、第3回評議員会及び第4回理事会を同29日、いずれもホテルグランヴィア岡山（岡山市北区駅元町）で開催しました。

第3回理事会では、令和5年度事業計画、令和4年度第2次資金収支補正予算、令和5年度資金収支予算など12件の議案が審議された結果、原案どおり承認され、内5件の議案と3件の報告案件について評議員会に提出することが認められました。

また、第3回評議員会では、令和5年度事業計画、令和4年度第2次資金収支補正予算、令和5年度資金収支予算、基本財産の処分、理事の選任の議案について、審議され承認されました。

第4回理事会では、業務執行理事の選定の議案が審議された結果、原案どおり承認されました。

令和5年度主要人事

役員

◎異動(令和5年4月1日付)

新井 禎彦 副理事長(兼)愛媛支部スーパーバイザー

◎新任(令和5年4月1日付)

小幡 篤志 理事

◎退任(令和5年3月31日付)

仁木 壯 副理事長

矢野 有哉 理事

顧問・参与

◎新任(令和5年4月1日付)

仁木 壯 旭川荘 特別顧問

須江 裕紀 旭川荘 参与

◎退職(令和5年3月31日付)

赤木 匠 旭川荘 顧問

施設長

◎異動(令和5年4月1日付)

田中 重行 ひらた支部 副支部長

ひらた旭川荘 総括施設長

川上 一夫 備中支部 副支部長

たかはし松風寮 寮長(兼)たかはし障害者就業・生活支援センター 所長

宮崎 暁弘 松山ワークセンター 所長(兼)望の丘ワークセンター 所長

河口 郁絵 ひらたえがお保育園 園長

谷川 奈美 旭川乳児院 院長(兼)さくら児童館 館長

杉本 明生 わかくさ学園いちご 園長

◎新任(令和5年4月1日付)

荻野 拓志 旭川荘事務局 事務局長

◎退職(令和5年3月31日付)

矢野 有哉 旭川荘事務局 事務局長

堀野 宏樹 旭川乳児院 院長(兼)さくら児童館 館長

旭川荘採用情報

令和5年度の正職員採用試験を下記の日程で行います。来春に大学、短大などを卒業予定の方と既卒の方(年齢制限あり)を対象にしています。

募集期間:5月12日(金)～6月14日(水)

試験日:一次試験6月24日(土)

二次試験7月15日(土)

最終合否発表:8月9日(水)

採用予定日:令和6年4月1日(月)

詳しくは旭川荘採用サイトをご覧ください。

旭川荘採用サイト



旭川荘ふくのいち

荘内の施設で作られた菓子や手工芸品、雑貨などを販売する「旭川荘ふくのいち」を5月16日から6月18日まで、宮脇書店総社店(総社市井手)で開催します。

期間中の6月3日には同店駐車場で屋外イベントも開催(11:00～14:00)。ガチャ釣りなどのお楽しみコーナーのほか、焼きそば、ホットドッグなどを販売します。

お問い合わせは吉備ワークホーム(086-275-2486)



編集後記

心地よい季節となりました。新しい年度を迎え、気持ちも改まります。昨年までのコロナ禍生活では自粛等を余儀なくされた利用者さん向けのお楽しみ行事や人との交流が、今年は制限も緩和され再開が心待ちにされます。紙面も心機一転、賑わいを増すことでしょう。楽しい広報紙をお届けしたいと思います。(広報委員 松本裕子)